

平成 23 年度鶴見高校環境教育のまとめと考察

1 基本方針の策定

- 《基本方針》 1 ESD(持続可能な開発のための教育)をふまえた環境教育を実践する。  
 2 課題発見・解決型、主体的参加型の学習を行う。  
 3 総合的な学習の時間・教科の学習・学校行事との連携を図る。

2 「総合的な学習の時間」における環境教育の取組み

実施日	学年	取組み	内容
4月21日	1年	校外学習事前指導	教員補助者による講演を聞き、「水族館における生き物の見方」について学習した。
9月26日	1年	環境マップ作成に関する説明	環境マップ作成の流れとグループ作り、グループによるテーマの設定を行った。
10月3日	3年	講演「環境問題と地域貢献活動」	環境総合研究会職員による講演を聞き、近年の大学における環境問題の取組みおよび学生によるボランティア活動による地域貢献について学習した。
10月3日	1年	環境マップ作成のための三つ池公園フィールドワーク	各グループのテーマについて三つ池公園で観察を行った。
10月17日	1年	環境マップ作成	フィールドワークの結果を各グループで整理し、模造紙に書き込み、環境マップを作成した。
10月31日	1年	環境マップ発表	クラスごとで各グループの環境マップの発表を行った。これまでの各グループの活動を振り返るとともに、他のグループの活動に対して質疑応答を行った。
12月19日	1,2年 および 希望者	講演「多摩川・鶴見川・相模川の河川環境」	国土交通省京浜河川事務所所員の方による講演を聞き、本校近隣の一級河川である鶴見川の流域の環境およびその変遷について学習した。
12月21日	2年	公園プランの作成	各グループで市民が自然に親しむことができる公園のあり方を考え、その内容を模造紙に書き込み、発表を行った。
1月28日	1,2年	OB・OG 講演会	本校の卒業生による職業講演会を聞き、さまざまな職業への理解に努めた。

### 3 各教科における環境教育の取り組み

実施時期	学年	教科名	内容
4月～5月	1年	数Ⅰ・数学A	地球環境問題 ・日本沿岸の海面上昇
12月～1月	1年	英語Ⅰ	地球環境問題
9～11月 1～3月	1年	地理A	人間生活を取り巻く環境 ・人々の生活と地形 ・人々の生活と気候 地球的に広がる課題 ・複雑に絡みあう地球的課題 ・世界の資源・エネルギー問題 ・世界の環境問題
3月	1年	理科総合A	NO <sub>x</sub> の測定
4月～7月	2年	美術Ⅰ	ポスター制作 ・ゴミの分別を呼びかける環境ポスター制作
6月	2年	現代文	評論「環境問題への視点」
5～6月 12月	2年	英語Ⅱ	・自然と野生保護活動 ・世界遺産を考える
10月～11月	2年	保健	環境と健康
6月 8月(夏期講習)	3年	現代文	入試問題演習 ・「資本主義とテクノロジーの没価値」 ・「なぜ環境破壊は食い止められないか」
6月 1月	3年	政治・経済	基本的人権の尊重と新しい人権 ・環境権について 環境保全と資源・エネルギー問題 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・国際的な取組み

#### 4 その他の取組み

実施日	対象	取組み	内容
7月12日	希望生徒	「理系大学」訪問	横浜国立大学工学部を訪れ、最新鋭の機器や研究状況を見学し、環境教育および理系大学への関心を向上させた。
7月20日	3年物理選択者	エネルギー施設見学会	みなとみらい地区の熱エネルギー供給施設を見学し、エネルギー供給の現状と環境への負荷について学習した。
9月17、18日	来校者	環境教育コーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来校された方々に文化祭の学校紹介コーナーで環境問題に関するポスターの掲示やクイズを出題した。</li> <li>・1年生が作成した「環境マップ」を廊下に掲示し、環境教育の成果を示した。</li> </ul>
11月10日	1年	地域貢献デー	LHRの時間に1年全員が各グループに分かれ、学校およびその周辺の清掃活動を行った。
2月11日	希望生徒	野外実習	三浦半島の地形や海浜の生物等を自らの目で見ることで自然環境に関する理解を深めた。
3月20日	生徒会生徒	環境教育シンポジウムでの発表	生徒会が取り組んでいるエコキャップ運動および「総合的な学習の時間」での「環境マップづくり」を紹介した。
23年度全期間	全生徒	エコキャップ運動	ペットボトルのキャップを回収し、NPOを通じてその売却益をユニセフに寄付する活動を行った。

#### 5 まとめ

環境に関する講演会や体験学習により、本校生徒の自然環境の重要性および多様性に関する認識、また、環境問題に関する意識を高めることができた。さらに、本校生徒が自然環境活動に関わる方々と接し、その職業に対する知識を深めることにより、キャリア教育としての効果も挙げることもできた。平成24年度は環境に関する教育活動を継続するとともに、教育力推進事業の最終年として、その活動内容の充実を図り、本校のこれまで蓄積した環境教育に関するノウハウを多方面に発信することに努めなければならない。

(参考) 活動風景

(環境マップ作成調査・三ツ池公園)



(環境マップ作成グループ活動)



(環境マップ発表)

